

花壇づくりへの  
取り組み

# 下合歓木町の花壇の手入れ

苦勞 と 楽しみ

六ツ美中部学区 下合歓木町

明生クラブ「花壇サポータ」 代表 二村政彦

## 下合歓木町花壇の場所

下合歓木町は、岡崎市の南部地域で、昔は「ねむの木」が群生していました。

花壇は、「正願寺」の前に有り、町内の方がお墓参りに良く通ります。

「正願寺」は枝垂れ桜で有名です。



## 花壇のお世話のいきさつ

- 町内の女性部から、「花壇のお世話が**大変**なので辞めたい」と相談が有りました。
- 他に引き受け手が居ないので、当時の総代・副総代で暫く花壇のお世話をする事にしました。
- 2年間お世話をしましたが、やはり二人では負担が大きく、町の老人会（明生クラブ）の**有志**でお世話をする事にしました。

# お世話のメンバー

- 。町内のお花好きな方に声を掛け、**サポーター隊**として、お世話して頂く事になりました。
- 。曜日毎に担当を決め、水やり・花摘み・草取りをして頂いています。



# 苦労していること

- **まず芽が出ない。** 種のせい？  
腕のせい？
- 次に苗が育たない。暑さのせい？  
腕のせい？
- 仕方なく農業屋で苗を買う事に。
- 苗の背丈がばらばらで、コンクール前には揃えられない。





## 楽しみなこと

- 。コロナ禍で町内のコミュニケーションが出来なくなった今、この花壇作りを通じて、**小さいなコミュニティ**が出来ています。
- 。通りがかの方からも「ご苦労様」のお声が掛かり、話に花が咲きます。（昔の**井戸端会議**）
- 。上手に咲き揃い、コンクールに入賞する事が、メンバーの楽しみになっています。

# 長く続ける為に

- 。サポート隊のメンバーを確保し維持していく。
- 。入賞するプレッシャーを感じない様に、楽しんでお世話をする。



ご清聴有難うございました。